



菅谷眼科医院
SUGAYA EYE CLINIC

院内だより

Vol.90

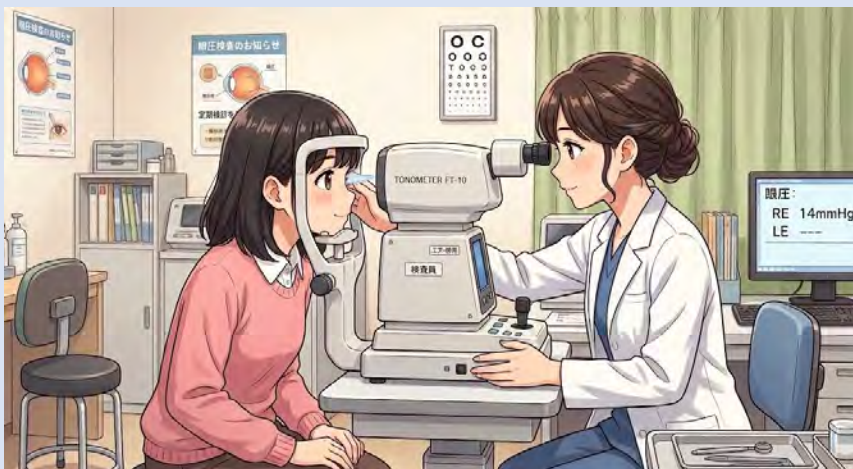
令和8年9月

「シュッ」と風が出る検査、何をしているの？

診察の前に受けていただく「目に風が当たる検査」。不意の風に思わずびっくりされる方も多いのではないのでしょうか。

この検査では眼圧（目の硬さ）を測定しています。目は房水という液体で満たされており、ボールのように内側から一定の圧力がかかることで丸い形を保っています。風をあてて角膜のへこみ具合を瞬時に測ることで、目の張りの強さを調べているのです。

「前回も測ったのに、なぜ毎回？」と思われるかもしれません。実は眼圧は血压と同じように、日内変動や体調、季節によって常に変化します。また、強い痛みなどの自覚症状がないまま視野が狭くなる**緑内障の早期発見**や**薬の選定・効果・副作用の評価**のために、毎回の数値の推移を確認することが欠かせません。少し驚かせてしまう検査ですが、大切な目の健康を定期的にチェックするために大事なものになります。



夕方や夜の見え方に変化はないですか？

秋から冬は暗くなるのが早く、「夜の運転で対向車のライトが眩しい」「街灯がにじむ」「足元が見えにくい」と感じる方が増えます。これらは単なる疲れ目ではなく、近視や乱視の度数ズレ、あるいは**白内障による光の乱反射**が原因のことも少なくありません。暗い道での見えにくさを放置すると、転倒や事故につながる恐れがあります。気になる変化があれば、お気軽にご相談ください。

